



江戸東京野菜プロジェクト



高校生が開発した「瑞穂七色唐辛子」による地域活性化

取組内容

【地元の野菜を活用した地域振興活動】

- ・高校生グループが、江戸東京野菜の一つ「内藤唐辛子」と瑞穂町の特産品であるお茶やトマト等をブレンドして開発した「瑞穂七色唐辛子」が瑞穂ブランドとして認定
- ・瑞穂七色唐辛子のマーケティング調査を行い、販売戦略を立案
- ・町内の飲食店や各種イベントで販売
女子高生ならではの視点で購買の客層や辛さの調節等を調査し、さらなる改良につなげ、多くの集客を生む存在へ発展
- ・瑞穂町の郷土料理「ずり出しうどん」に着目し、瑞穂七色唐辛子とのコラボレーションを実践
地域の人と協力して体験教室を自分たちの手で開催
- ・瑞穂町に隣接する米国空軍横田基地のアメリカ人との交流により、国際的な視点から瑞穂七色唐辛子を通じた地域活性化を推進



戦略会議の様子



体験教室の様子

背景・経緯

- 瑞穂町は野菜作りが盛んな一方、6次産業化は進んでいなかったことから、江戸東京野菜と瑞穂町の名産品をコラボレーションした食品開発に着手

効果

- 農業高校の生徒が専門的な能力を活かして地域の魅力を社会に広く発信し、瑞穂町のネームバリューの向上に貢献
- 地元を思う気持ちによる行動が住民の理解につながり、地域の農家や自治体を巻き込み、地域振興の大きなうねりを創出